

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
居住環境基礎	居住環境コース 専任教員	講義	2		1, 2, 3, 4	3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	コース生を均等に4つの班に分け、建築計画・都市計画・環境問題・情報科学担当教員4名が、ローテーション形式で、各班に対して専門分野に関する講義を分野毎に3回ずつ行う。						
到達目標	専任教員各自の専門分野のダイジェストについて全コース生が受講することで、学生各自が、二年次でのゼミの選択さらには将来の進路について考えられるようになる。						
回	学習内容 ※2～10回, 12～14回については、班ごとに順番が異なる。						
1	全体会合：講義の目的・内容等についての説明、注意事項の伝達						
2	建築計画(1)：空間デザインに関する出題および現状と課題の把握（対象：三重短期大学キャンパス）						
3	建築計画(2)：参考事例の収集・分析（グループワークなど）						
4	建築計画(3)：提案内容の発表						
5	都市計画(1)：まちづくりワークショップ（三重短期大学周辺の現状を知ろう）						
6	都市計画(2)：まちづくりのテーマ・コンセプトを考えよう（グループワークなど）						
7	都市計画(3)：まちの将来構想づくり（持続可能な地域づくり）と発表						
8	環境問題(1)：映像視聴と補足講義—生体模倣（建築技術への適用を中心に）						
9	環境問題(2)：映像視聴と補足講義—チェルノブイリ原発事故の後処理の現状						
10	環境問題(3)：映像視聴と補足講義—戦争と環境破壊（化学兵器の海洋投棄問題）						
11	学生面談日（各班に対し教員それぞれが対応）						
12	情報科学(1)：Scratchによるプログラミング（Scratchによるゲーム制作）						
13	情報科学(2)：Scratchによるプログラミング（グループ作品の制作：テーマ決め、担当決め）						
14	情報科学(3)：Scratchによるプログラミング（グループ作品の制作：作品制作）						
15	最終全体会合：教員による講評および学生による総括レポート執筆						
予習内容 復習内容	予習：講義のテーマ毎に関連した文献等を調べる。その回の目標として示された事項に取り組む。 復習：講義内容を振り返り、要点をまとめ、疑問点を調べる。						
教科書	教科書は使用しない。講義中に適宜指示する。						
成績評価	毎回提出物…80% 総括レポート…20%						
実務経験	建築計画担当教員は、設計事務所での勤務経験を活かし、実践的な計画設計手法について講義する。 都市計画担当教員は、都市計画事務所での勤務経験を活かし、実践的な調査研究、計画力の養成に努める。						
その他 特記事項	第一学年にて履修する。						